

社会資本整備総合交付金 事後評価シート
乙川リバーフロントQURUWA戦略地区整備計画

令和3年3月

愛知県岡崎市

(参考) 社会資本総合整備計画(市街地整備) 事後評価書

令和3年3月

計画の名称	1 乙川リバーフロントQURUWA戦略地区整備計画			交付対象	岡崎市(愛知県)												
計画の期間	平成27年度～令和2年度(6年間)																
計画の目標	大目標 “これからの100年を暮らすまち、夢ある新しい岡崎” ～乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした公民連携して挑む観光産業都市の創造～ 目標①:水辺空間を活かした、安全で安心して、歩き、楽しめる場の創造 目標②:交通結節点との連携強化・公民連携による中心市街地への新たな交流・にぎわいの創造 目標③:岡崎の歴史文化を活かした魅力の継承と創造																
計画の成果目標(定量的指標)	・本地区の魅力発揮に関する市民満足度評価を60%(H26)から66%(R2)に拡大 ・橋梁(歩道、人道橋)を往來する人数を3,720人から4,260人へ拡大 ・観光客数として岡崎城の入場者数を20.7万人から24.3万人に拡大 ・東岡崎駅の1日当たり乗降客数を36,594人から41,700人へ拡大 ・QURUWA上の路線価を107.8千円/㎡から109.4千円/㎡(R2)へ拡大 ・QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数を1日/年から70日/年へ拡大																
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値														
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (R2末)														
「魅力発揮」に関する市民、観光客による評価(アンケート調査により、「だいたい満足」or「たいへん満足」と回答した人の割合)	60%		66%														
週末(12h)における潜水橋、殿橋、明代橋、新入道橋の歩行者、自転車数	3,720人/12h		4,260人/12h														
岡崎公園における岡崎城入場者数	20.7万人/年		24.3万人/年														
東岡崎駅の1日当たり乗降客数	36,594人/日		41,700人/日														
QURUWA上の主要な公共空間における平均路線価	107.8千円/㎡		109.4千円/㎡														
QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数	1日/年		70日/年														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,502百万円	A	6,866百万円(うち提案事業分 0百万円)	B	0百万円	C	606百万円	D	30百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C+D)	8.1%					
〇事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施体制 整備計画の策定主体の所管部署において事後評価を実施し、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行う。 事後評価の実施時期 令和3年3月 公表の方法 岡崎市ホームページにて公表																	
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別財政計画 策定状況	備考
1-A-1	都市再生	一般	岡崎市	直接	岡崎市	乙川リバーフロントQURUWA戦略地区都市再生整備計画(都市再構築戦略事業)	157.2ha	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31	6,866			
													合計	6,866			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
1-C-1	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		モニュメント整備事業	徳川四天王石像、徳川家康像	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31	71		
1-C-2	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		橋梁修繕照明整備事業	殿橋、明代橋の修繕照明	岡崎市						140		
1-C-3	社会実験	一般	岡崎市	直接	岡崎市		木舟運行事業	五万石舟復元運行の検証	岡崎市						27		
1-C-4	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		船着場・船揚場整備事業	船着場、船揚場、係留施設	岡崎市						133		
1-C-5	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		まちづくり講演会	専門家によるまちづくり先進事例の講演	岡崎市						2		
1-C-6	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり発信事業	事業の新しいプロジェクト	岡崎市						56		
1-C-7	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり民間連携事業	かわまちづくりと民間事業者との連携実験	岡崎市						7		
1-C-8	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり組織化事業	かわまちづくり協議会・実行委員会運営支援	岡崎市						33		
1-C-9	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくりマネジメント公募事業	かわまちづくりマネジメント公募事業	岡崎市						14		
1-C-10	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		まちづくり啓発事業	ワークショップ	岡崎市						47		
1-C-13	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		岡崎城跡調査情報発信事業	専門家による城門・曲輪等の現地説明会	岡崎市						52		
1-C-14	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		岡崎城跡歴史的建造物等活用整備事業	観光活用のための遺構見える化整備	岡崎市						24		
													合計	606			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、伝統産業と歴史文化を活かしたモニュメントの整備により、本市の新たなシンボルとなり、石工の技術の伝承と新たな交流、賑わいの創出ができる。	
1-C-2	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、近代土木遺産でもある橋を活かした修繕照明により、河川空間の新たな景観を創出するとともに、安全で安心して、歩き、楽しめる場と新たな賑わいの創出ができる。	
1-C-3	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、五方石舟の復元による利用状況や運行状況を検証し、歴史文化を活かした新たな魅力の継承と創出ができる。	
1-C-4	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、駅と新たに本舟による交通結節点を生み出し、これら交通結節点と歴史文化への連携強化により、水辺空間を活かした、新たな賑わいと楽しめる場の創出ができる。	
1-C-5	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、市民の乙川を活かしたかみまちづくりに対する啓蒙を図る。	
1-C-6	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、水辺空間を活かした新たなまちづくり発信行事による賑わいの創出と乙川リバーフロント地区整備を切り掛けとした市民のまちづくりに対する意識の向上を図る。	
1-C-7	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、民間からの水辺空間を活かした提案事業について、かみまちづくりとの連携を体験し、担い手の発掘を行う。	
1-C-8	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、かみまちづくりによる乙川の新たな民間利活用に向けたスキームが構築できる。	
1-C-9	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、かわとまちの融合を図るべく、乙川の利活用事業者間の調整、連携などを行うためのマネジメント組織の公募の枠組みができる。	
1-C-10	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、市民と共に、民間での具体的な利活用を考えながら、公民連携した持続可能なまちづくりに資する施設整備を実現する。	
1-C-13	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、歴史文化遺産の価値や魅力をわかりやすく情報発信し、市民・観光客の理解を深めることができる。	
1-C-14	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、全国で五指に入る級郭規模の岡崎城跡を市街地でも身近に体感できることで、回遊性が高まるとともに、賑わいを生み出すことができる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

II 社会資本整備内河川地帯整備事業											備考						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)					
D-1	地帯整備	一般	愛知県	間接	岡崎市		地帯調査(乙川リバーフロント地区)	面積 0.5km	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31	14	16	30
合計											30						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-D1	土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。														
その他関連する事業															
計画等の名称												東岡崎駅周辺地区整備計画			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
A' 1-A-1	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	東岡崎駅前広場整備	駅前広場 A=3,000㎡	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31		452
A' 1-A-2	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	明大寺交通広場整備	交通広場 A=2,400㎡	岡崎市							65
合計											517				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の拠点や拠点間を結ぶ動線が整備されたことにより、まちに回遊が生まれつつある。 ・整備された良質な公共空間を利用した民間事業活動の取り組みが盛んとなっている。 ・これらの公民連携プロジェクトの実施により、民間投資が誘発され、暮らしの質及びエリアの価値の向上に波及しているものと考えられる。 	
II 定量的指標の達成状況	指標① 魅力(安住)に関する市民・観光客による詳細(アンケート)調査により「たいへん満足」or「たいへん満足」と回答した人の割合	66%	コロナ禍において、当地区に來訪する市民、観光客を対象とした対面方式によるアンケート調査が実施できず、市民を対象とした無作為抽出での郵送方式によるアンケート調査結果であるため、参考値として扱う。事業内容や施設の周知度が低く、当地区に來訪したことがない市民も含まれており目標達成に至っていないと考えられる。
	指標② 重要(ESG)における環境負荷削減、関係者・関係者、新入職員の歩行者、自転車乗車	4,260人/12h	乙川河川緑地整備やプロムナード整備が進捗し、龍田公園、新人道橋などが完成し供用開始されたことにより、回遊性が向上した結果、目標達成に至ったと考えられる。
	指標③ 岡崎公園における岡崎城入場者数	24.3万人/年	H27年及びH28年は記念事業などにより増加したが、その後は観光需要がいったん落ち着き、目標達成に至らなかったと考えられる。
	指標④ 東岡崎駅の1日当たり乗降客数	41,700人/日	東岡崎駅の乗降客数は増加傾向ではあるが、コロナ禍における様々な行動や活動自粛の影響により鉄道利用者が全体的に減少しており、目標達成に至らなかったと考えられる。
	指標⑤ QURUWA上の主要な公共空間における平均路線価	109.4千円/㎡	
	指標⑥ QURUWA上の主要な公共空間における平均路線価	110.0千円/㎡	各種事業の進捗により地区の魅力が向上し、まちの価値が上昇した結果、目標達成に至ったと考えられる。
	指標⑦ QURUWA上の主要な公共空間を利用した民間事業活動日数	70日/年	300日/年
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・QURUWA戦略による取り組みを通じて、乙川リバーフロント地区の整備により良質な空間に生まれ変わった公共空間を、市民や民間事業者が積極的に活用することで、新たな出店や投資が誘発されている。特に、リノベーションまちづくりとして、H28年度に「岡崎家守構想」が策定され、これを契機に、リノベーションスクール参加者等による出店が目に見える形になっている。また、市内全域から当エリアのまちに関わる市民や民間事業者、そして来街者も増えており、当エリアに対する期待値が上がっていると考えられる。 ・リニューアルした龍田公園周辺では、学区をまたいで地元住民・町内会の連合体が構築され、地元主体のまちづくりに取り組む働きも始まっており、今後、地域と民間事業者の連携が図りやすくなることと推測され、まちが変化するスピードの加速につながるものと考えられる。 		

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・本事業計画で整備した公共空間の民間事業者等による利活用の促進及び周辺民有地への民間投資の誘導
- ・公共空間及び周辺民有地における居心地の良いウォークアブルな空間づくりによる回遊性の向上
- ・スマートシティ事業との連携による更なる民間投資の誘導
- ・都市拠点である東岡崎駅周辺地区における土地利用の促進
- ・都市機能の誘導による生活機能サービス等の充実及び周辺区域の居住誘導
- ・歴史文化遺産等の既存ストックの更なる活用
- ・公民連携による更なる高質な都市空間の形成と景観形成

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

